

北海道農政事務所発注者綱紀保持委員会（第2回）議事概要

日 時 平成22年11月29日（月） 13:30～14:00

場 所 北海道農政事務所5階大会議室

出席者 総務管理官、庶務課長、人事課課長補佐、経理課長、会計室長、
農政推進課長、消費・安全部消費生活課課長補佐、食糧部消費
流通課課長補佐、統計部統計調整課課長補佐

概 要

1. 発注者綱紀保持要領の改正案概要説明について（資料1）
2. 平成22年度北海道農政事務所における発注者綱紀保持対策の実施状況について説明（資料2）
3. 平成22年度第2回発注者綱紀保持研修について説明
12月9日に「入札談合の防止について」の研修を開催予定
4. その他

平成19年10月11日
19北農第1571号

北海道農政事務所発注者綱紀保持委員会設置要領

1 趣旨

公共工事等の発注事務に係る関係法令の遵守はもとより、国民の疑惑を招かないよう発注事務に係る綱紀の保持を図り、もって発注事務に対する国民の信頼を確保することが求められている。

このため平成19年7月31日付けで制定された農林水産省発注者綱紀保持規程（平成19年農林水産省訓令第22号。以下「規程」という。）第9条において、発注者綱紀保持委員会を設置することとされたところである。

このことから、北海道農政事務所に「北海道農政事務所発注者綱紀保持委員会」（以下「委員会」という。）を設置する。

2 委員会の事務

委員会は、次に掲げる事項を調査審議する。

- (1) ~~予~~ 規程の規定に反するとして、また、第三者からの不当な働きかけを受けたとして報告のあった事案の調査分析及び公表に関する事。
- (2) ~~予~~ 発注担当者の的確適確な職務遂行のための研修及び講習の方針に関する事。
- (3) ~~予~~ 発注者綱紀保持対策の有資格業者への周知の方策に関する事。
- (4) ~~予~~ その他の発注者綱紀保持に関して必要な事項に関する事。

3 委員会の構成

- (1) 委員は、別紙のとおりとし、委員長は所長とする。
- (2) 特定の事項に限定した調査審議を行うため委員会に小委員会を設置することができる。
- (3) 小委員会に属する委員は、委員長が指名する。
- (4) 小委員会に属する委員の中から、小委員会の委員長を互選するものとする。
- (5) 必要に応じて、委員会及び小委員会に外部委員を置くことができる。
- (6) 外部委員を置く場合は、学識経験のある者のうちから、委員長が委嘱する。
- (7) 外部委員の任期は2年とし、再任されることができる。
- (8) 外部委員の氏名及び職業は、公表するものとする。

4 定例会議

- (1) 定例会議は、委員長が招集し、原則として毎年度2回開催する。
- (2) 定例会議は、委員及び外部委員をもって構成する。
- (3) 定例会議は、非公開とし、定例会議の議事概要は、これを公表する。

5 随時会議

- (1) 随時会議は、必要に応じて、委員長が招集する。
- (2) 委員長は、議題に応じて外部委員の意見を聴取し、又は必要に応じて外部委員の出席を求めることができる。
- (3) 随時会議は非公開とする。

6 公表方法

本要領に規定された公表事項は、閲覧及びホームページにより公表するものとする。

7 委員会の庶務事務局

委員会の庶務事務局は庶務課において行う。ただし、小委員会に関する庶務事務については、小委員会で調査審議する事項を所掌する機関の主管課において行う。

別 紙

北海道農政事務所発注者綱紀保持委員会委員

委員長	所長
委員	総務管理官
委員	庶務課長
委員	人事課長
委員	経理課長
委員	会計室長
委員	農政推進課長
委員	消費・安全部消費生活課長
委員	食糧部消費流通課長計画課長
委員	統計部統計調整課長
庶務	庶務課

平成 22 年度発注者綱紀保持実施状況

1. 平成 22 年度第 1 回農林水産本省発注者綱紀保持研修への出席

日 時 平成 22 年 6 月 3 日 (木) ～ 4 日 (金)
場 所 農林水産本省
出席者 庶務課監査係長

2. 第 1 回北海道農政事務所発注者綱紀保持研修の実施

日 時 平成 22 年 7 月 12 日 (月)
場 所 北海道農政事務所 5 階 会議室
内 容 ・ 発注者綱紀保持をめぐる最近の情勢
・ 契約事務の留意点
・ 綱紀保持マニュアルの解説
・ 発注者綱紀保持対策に係るチェックシートの実施
参加人数 39 人 (内漁業調整事務所 4 人)
北海道漁業調整事務所との共催